

川崎発！

世界に目を向けた地元密着の取組



無料

かわさきコンパクトセミナー

「かわさきコンパクト」へ参加している企業では、本社から CSR レポートを公表しているところが多くありますが、川崎の地元目線を見た場合、川崎市民からよく見える地元密着の CSR を問うことが必要だと考えます。

そこで、第3回セミナーを「CSR を評価する市民の眼～CANPAN CSR プラスの取組（仮題）」とし、川崎市民へ伝わり共有できる CSR の情報発信のあり方を考えます。

第3回

日時 11/18（金）14:30～16:30

会場 川崎市生活文化会館てくのかわさき

展示場（4階） ※裏面地図を参照

講師 木田悟史 氏（日本財団 CANPAN 企画推進チーム）

演題 CSR を評価する市民の眼、
CANPAN CSR プラスの取組（仮題）

定員 20人

セミナーでは、CANPAN CSR プラスの実例を受けて「かわさきコンパクト」参加企業が自社の CSR 活動を地域へ伝えることについて話し合います。また、「かわさきコンパクト」参加の市民団体がこの課題に対して企業と一緒に取り組めることも意見交換します。

会場地図



- 講師プロフィール…木田悟史(きだ さとし)
- 慶応義塾大学環境情報学部卒業、2000年日本財団入団。
- 日本企業のCSR、NPOとの協働などを推進するため、2006年より
- CANPAN CSRプロジェクトに係り、CSR報告書調査やCSR大賞等
- の企画、運営を行う。
- 3月11日の大震災以降は、主に企業と震災支援の関わりについて
- 様々な相談に応じている。
-
-

【セミナー参加者の声】

- かわさきコンパクト誕生の経緯がよくわかりました。日本の都市ももっと参加してコンパクトネットワークを広げ議論を深め日本の方向性をも指導できるような体制ができればよいのにと考えます。
- 川崎市内で企業やNPOが協働して社会を良くする取り組みはどのような動きがあるのか知りたくて伺いました。

かわさきコンパクトとは…

「かわさきコンパクト」はグローバルな視野から設定した課題に対し、川崎の市民・企業・行政等の連携によって解決を目指す取組です。「かわさきコンパクト」は、「ビジネス・コンパクト」と「市民コンパクト」から構成されます。それぞれの理念・原則に共鳴する事業者や市民の自発的な参加を募り、多様な主体の協働により様々なプロジェクト、政策提言等を生み出していきます。

川崎市は国連グローバルコンパクト(略称GC)に日本の自治体として初めて2006年1月から参加しています。GCは1999年にアナン国連事務総長が提唱し、2000年7月に正式発足した企業・団体の自主行動原則です。参加する世界各国の企業・団体が、人権、労働、環境、腐敗防止の4分野で世界的に確立された10原則を支持し、実践するよう努めるプログラムです。GCの市内展開として、「かわさきコンパクト」を2006年度に作成・提唱し、進めています。

申し込み・問い合わせ

かわさきコンパクト推進事務局 (川崎市環境局 地球環境推進室内)

電話 044-200-2169・FAX 044-200-3921・電子メール info@kawasaki-compact.com

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

お申し込み

2011年度 第3回かわさきコンパクトセミナー(11/18)に参加します。

氏名: _____ 連絡先電話番号: _____

団体名・企業名: _____

(FAX : 044-200-3921)

川崎市環境局 地球環境推進室 宛